

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 27 日作成)

小委員会名	民家小委員会	主 査 名：大野 敏 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：後藤 治
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民家の調査研究から集落・都市の未来を模索していく ・ 2017 年度大会研究協議会「民家・集落景観の継承（保存と保全）」企画 ・ 同上大会競技会開催へ向けた研究活動推進と資料作成。 ・ 民家研究実績に関する資料収集・整理。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：2015 年度に公募で 1 名委員を加えて、定員 15 名を有している。	
	主査：大野敏（横浜国立大学） 幹事：大場修（京都府立大学）、溝口正人（名古屋市立大学） 委員：安高 尚毅（島根大学）、長田城治（郡山女子大学）、角 幸博（北海道大学 名誉教授）、黒坂貴裕（文化庁参事官付(建造物担当)）、土本 俊和（信州 大学）、西山和宏（奈良文化財研究所都城発掘調査部）、平山育男（長岡造 形大学）、福井 宇洋（前福井大学）、三浦要一（高知県立大学）、御船達雄 （和歌山県文化遺産課）、山田由香里（長崎総合科学大学）、渡邊美樹（足 利工業大学）	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2016 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：現在休止中 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	1. パネルディスカッション「民家における近代化の様相一ひとびとは近代化を どう受け止めたかー」 (資料名) 同 上 参加者数51名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 2016 大会研究協議会に「民家の近代化」は資料集作成も含めて成果をおさめ たが、近代化の切り口は多様であり、今後も重視していく必要がある。 2. 2017 大会 PD に「民家・集落景観の継承（保存と保全）」テーマが採択され、 3 年連続して大会行事に参画できることは、委員会活動が健全に進捗してい ると認識している。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 全員が集まれる機会がない。 2. 民家研究史のとりまとめ作業の推進。 3. 民家研究活動と保存活用（啓蒙）活動とのバランス。